

《キーワード》 口腔、再生、コラーゲン、アパタイト、バイオマテリアル、骨再生外科

《担当者名》 村田 勝

【概要】

再生医療はバイオマテリアルサイエンスの発展型である。口腔再生医療を患者さんに届けるためには、天然構造と構成成分そしてバイオマテリアルに対する知識を高める必要がある。口腔の特殊性を理解し、その機能する形態を天然臓器から習得することを目標とする。

本科目では組織再生のための新生血管形成を妨げない構造と成長因子の重要性について習得する。

【学修目標】

- 1．歯と顎骨のユニット構造と機能を理解する。
- 2．コラーゲンについて説明できる。
- 3．アパタイトについて説明できる。
- 4．単一あるいは複合バイオマテリアルについて説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	口腔の二面性	口腔再生外科の特殊性	村田 勝
2	生体構成成分 1	コラーゲン・アパタイト	村田 勝
3	生体構成成分 2	成長因子・体液	村田 勝

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

口頭試問または筆記試験

【教科書】

Advances in Oral Tissue Engineering (ed.M.Murata and I-W.Um, Quintessence Publishing, Chicago)

【参考書】

骨の科学（医歯薬出版）

歯と骨の再生医療（学際企画）

【学修の準備】

教科書と関連文献を講読することが望ましい。